

個人の部



柳川 日咲 さん (兵庫県・6年生)



「愛媛県のおいしいみかん」



最優秀賞を受賞した柳川 日咲さん

私は、クラスの人々と一緒に作った牛乳パックから変身した世界に一つだけのはがきに、どんな絵を描こうかワクワクしました。

私の夏の思い出は、家族で愛媛県に出かけたことです。大好きなおいしいみかんを使った蛇口から出るみかんジュースが心に残ったので「みかん」を題材に絵を描きました。

牛乳パックから作るはがきは、絵の具で色をつけてと画用紙よりも深い色に染まり、その特徴を生かしてみかんの甘さと濃厚さを表現しました。工夫した所は、一つの色で色んなバリエーションを作り、重ねて本物のように近づけていった所です。そして記念に買ったみかんの花のハンカチや、夢の蛇口も一緒に一つのはがきにつめこみました。

絵を描くことが好きなので、このような素敵な賞をいただくことができて本当にうれしいです。小学生生活の良い思い出となりました。選んでいただけてありがとうございました。



1年生



「家族みんなの推しのお尻」
岡田 昊樹さん (東京都)

2年生



「大ものみつけた！」
上地 太陽さん (北海道)

3年生



「花火きれいだな」
松原 百花さん (宮城県)

4年生



「糸島の海」
小野 朱凜さん (福岡県)

5年生



「サワガニ見つけた!!」
愛新 蒼さん (兵庫県)

6年生



「おばあちゃんのおごりて」
山口 諒也さん (千葉県)

第20回 手づくり絵はがきコンクール

テーマ 「夏の思い出」

受賞者発表

たくさんのご応募ありがとうございました
日本全国の小学生から3,860作品の応募がありました！

夏の思い出と、リサイクルの体験を忘れずに。

「手づくり絵はがきコンクール」は、牛乳パックなどの一度使った紙をリサイクルして紙をつくり、その紙をはがきにして「夏の思い出」を描くコンクールです。子どもたちに紙への関心を高めてもらうとともに、紙のリサイクルについて身をもって体験してもらうことを目的に、日本製紙連合会がこれまで20回にわたって開催してきました。リサイクルした紙がはがきに生まれ変わる驚きと、1枚の絵はがきに仕上げた達成感が、ひと夏の思い出とともに、いつまでも子どもたちの心に残ってくれることを願っています。

団体の部



瑞穂市立本田小学校きらら学級 (岐阜県)

今年、私たちきらら学級は、生活単元学習で紙すきをしました。私たち5、6年生が牛乳パックから紙を作る作り方を覚えて、きらら学級の友達と先生たちにうちわを作って渡しました。とても喜んでもらえてうれしかったです。9月には、きららの1年生から6年生までみんなで、パルプを使って紙すきをしました。講師の先生に、和紙の原料のことなどを聞きました。私たちが教えたので、1年生や2年生も、上手に紙すきができてよかったです。みんなで夏の思い出を描きました。うちわの時にすいた紙も使っていい作品を作ることができました。今回、こんなすきな賞をもらえてうれしいです。これからも、いろんなことをみんなでがんばりたいです。



瑞穂市立本田小学校きらら学級の皆さん。表彰式でみんなと記念撮影。